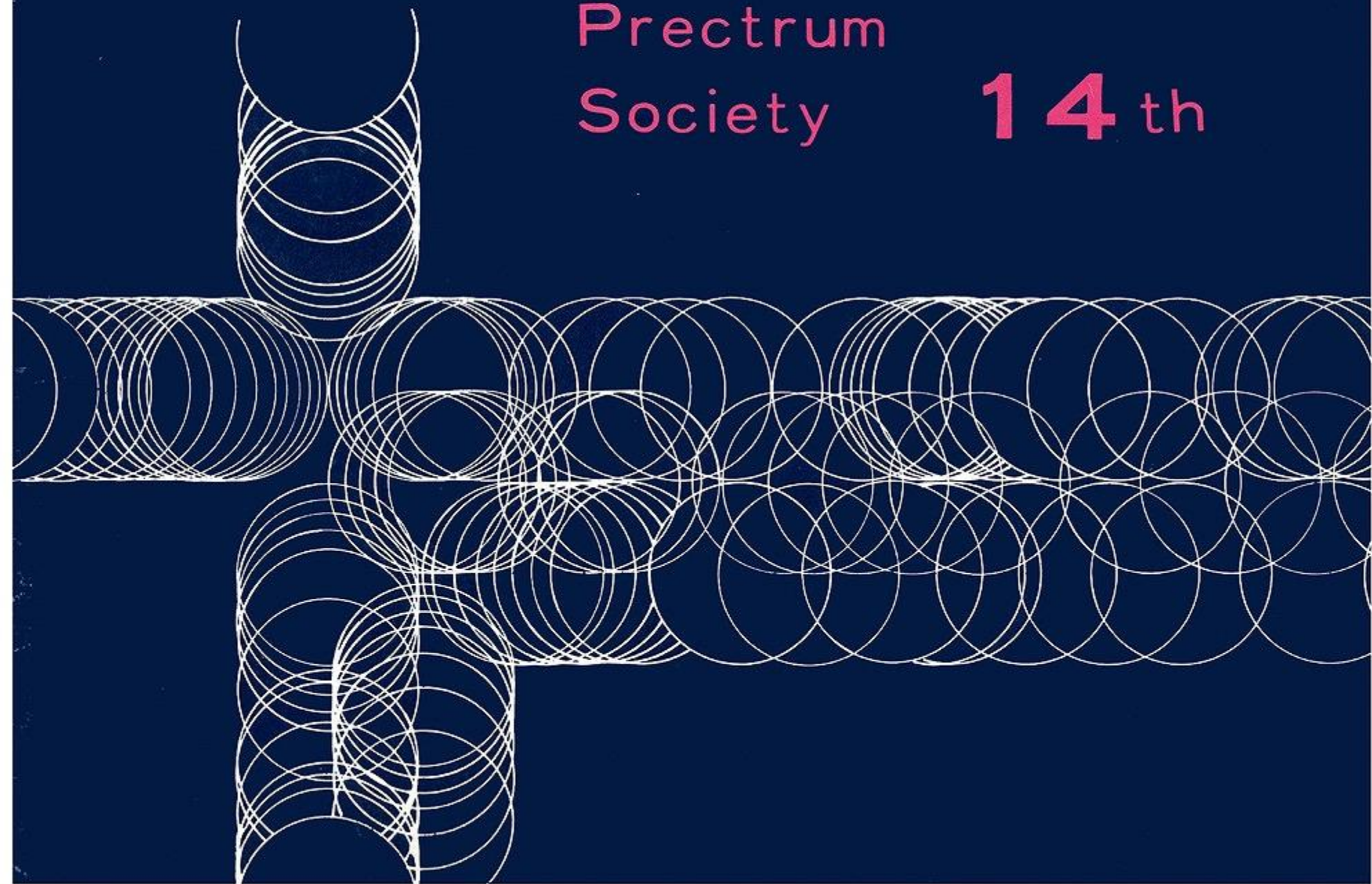


マンドリン・コンサート

Prectrum
Society

14th





秋へのプレリュードが
始っています—

MEN'S
WORLD

⊕ 岩国大丸

岩国市本通り(アーケード街) TEL 21-3158

第14回 定期演奏会



1971 8.28 PM 6:30

岩国市体育館

主催：岩国プレクトラム・ソサエティ

後援：岩国市教育委員会

ご 挨拶

残暑のきびしい毎日にもかかわらず、御健勝のことと部員一同お慶び申し上げます。

今宵も私達の演奏会に多数お出かけいただき心から感謝しております。

この、夏の定期演奏会は、私達にとっては年一度の公式演奏会にあたります。平素仕事の余暇、勉学のあい間に練習に励んだ成果を、存分に発表できるよう大いに張り切っております。とはいえ時にお聴き苦しい点もあろうかと思いますが、その点は叱咤激励していただき、来年はもっと良いものにしたいと思っております。どうか最後まで、ごゆっくり御鑑賞下さいますようお願い申し上げます。

末筆ながら、平素御援助いただいております岩国市教育委員会、賛助出演の方々、また常に変わぬ同好の方々の厚意に厚くお礼申し上げます。

岩国プレクトラム・ソサエティ

会 長 三 浦 孔 司

インテリアファッションの店

カーテンとじゅうたん

柳 屋

岩国駅前アーケード街 TEL21-0394

熊谷幹雄先生のことなど

村 井 一 露

岩国高校に「岩国高校プレクトラム・アンサンブル」のあることを、私が知ったのは、吉田矢健治氏作曲、私の作詞で「岩国高校応援歌」が出来た、昭和43年7月のことであった。

この応援歌を、その発表会に間に合わすべく、一生懸命、指導して下さったのが、今は亡き熊谷幹雄先生であったと聞き、私はひどく心を打たれた。つまり先生指導のもとに、その歌が、どうにか岩高生の若い心に植えつけられ、そして先生得意のマンドリン音楽の楽しさ、人間性の向上を図ることを目的とした、このプレクトラム音楽のもつ無限の芸術性を精力的に追求なさっておられた、熊谷先生の心構えに、今更ながら敬服したのである。そして私の忘れることの出来ないのは「岩高プレクトラム・アンサンブル」によって、応援歌の発表会を、まじかにひかえた或る日、突然、熊谷先生には、岩国国立病院に入院、重い病気に苦しまれることになったことである。私は吉田矢氏と二人で病床を見舞い、残念そうだった先生の顔が、今だに眼前に浮んでくるのである。

吉田矢氏は今、キングレコード専属の一流作曲家であるが、そのマンドリンの手ほどきは、熊谷先生であり、大学では古賀政男氏に続いたのであった。

その上、私は、旧制岩中で、熊谷先生と5年間、席を並べた同級生であり、色々考えると、何か熊谷先生と私は、不思議な糸で結ばれていたような気がしてならない。

熊谷先生ありせば、今宵も、さぞかし楽しいことだったに違いない、と思うと熱いものがこみあげてくる。

「霊前の灯を絶たず通夜明け易き。一露、は、あの日、熊谷先生に捧げた、忘れることの出来ない、私の弔句の1つであった。」

(岩国市教育委員)



毎週日曜日・水曜日 エレクトーン演奏

喫 茶
スナック

じゅとーろ

岩国駅前第一ビル地階 / TEL 21-1315

PROGRAM

I Mandolin Original

Conductor N.TAKASHIMA

過ぎた日の情熱 川崎貞利 作曲

メリアの平原に立ちて G・マネンテ 作曲

序曲第4番口短調 K・ヴェルキー 作曲



I Classic Album

Conductor T.EBISU

マドンナの宝石

ワルツ「女学生」

「白鳥の湖」より情景

愛の歎び

火祭の踊り

II Mandolin Original

Conductor N.TAKASHIMA

音楽物語「朱雀門」 鈴木静一作曲

ナレーター 中山正紀



曲目解説

過ぎた日の熱情

川崎貞利 作曲

人は一生のうち一度は大きい仕事をする。その内容は個人によって様々である。が、それに対する熱情というものは些かも変りないのである。ここに青年がいる。彼も病にとりつかれたひとりである。熱情の病である。彼は天をも焦がす激しい熱情にとりつかれた。しかし、彼はあくまで冷静だった。それは、ほとぼしる熱情を抑えた「嵐の前の静けさ」であろう。曲はその静けさに始まる。事ある前に彼を襲った空虚な一瞬だった。決意は堅かった。だが若い彼は幾度となく挫折した。そしてその都度、彼は不屈の精神力で立上った。今、それを語る彼の淡々とした口調の中にも厳しさが漂う。彼の青春を賭けた熱情、それが、いっそのまま燃え尽きたら倅せに違いない。そうだ、このまま突き果ててしまいたい……。

川崎貞利氏は早稲田大学卒業後、満州へ渡った。戦時中のことである。そこでも氏はマンドリンを捨てきれず「奉天マンドリンクラブ」にて活躍した。当時、大陸から本土への郷愁を込めた曲が、彼の代表作「西域より」である。他に「雪の夜道」「春の日」等がある。

序曲第4番口短調

K・ヴェルキー 作曲

作曲者K・ヴェルキーは、1904年ベルリン Lautengilde の創始者であり、又1948年以来ベルリンの国民音楽学校主事として活躍した。彼の作品は、現在までにマンドリン合奏曲を中心に約60曲程度あるが、その中で最も親しまれているのがマンドリンオーケストラのための序曲第1番から始まって今回演奏する「序曲第4番口短調」までの4つの序曲である。

又彼は、近作においてマンドリンオーケストラを伴うイ短調のヴァイオリンコンチェルトとか、マンドリンの一つの特色であるトレモロを使わない作品など、いろいろ新しいことを試みてマンドリン音楽に大きな貢献をなしている。

本曲は、通常のマンドリンオーケストラの編成に加えて、管楽器（フルート、クラリネット、オーボエ、ホルン、ファゴット）及び打楽器をとり入れ、更にアルミニウムを加えているが、今回はフルート、クラリネット、それに打楽器を編入しての演奏です。



カメラの御用命は

株式
会社

リリーカメラ

本店 岩国市一番町商店街 TEL② 1038
支店 岩国市駅前アーケード街 TEL② 2674
支店 岩国市航空隊前 TEL② 1037

メリアの平原に立ちて

G・マネンテ 作曲

G・マネンテはイタリアのサンニオに音楽家を父として生まれました。幼い頃から音楽を好んだ彼は王立陸軍学校附属の軍楽隊に入り、1903年には軍楽隊長になりました。彼の作品にはマンドリン合奏曲を初め管弦楽、吹奏楽、ピアノ曲などの多くの作品がありますが、とくにマンドリン曲においては新しい試みが成功し、マンドリン合奏に新しい息吹を与えた功績は高く評価されています。

「メリアの平原に立ちて」は1909年「イル・プレットロ」誌主催の第2回作曲コンクールに第2位に入賞したもので吹奏楽用にも書かれています。

曲は変化に富んだアレグロに始まり、広大な平原の風景描写的な美しいメロディーが現われて、ギターとマンドチェロのアルペジオにのった淋しい東洋風のメロディーが続きます。その後マンドラが特徴のあるメロディーを大らかに歌いあげると曲は最初の主題の自由な展開を見せ、マンドリンとマンドラが前の主題を対位法的に取扱い最初のアレグロの主題に戻って生き生きと終りを告げます。

この曲において注目すべきことは作者がプレクトラム楽器を非常に大胆に取扱っていることで、一歩あやまれば楽器の生命が失われてしまうのではないかと思われるまでに豪放な作曲を敢えて行い成功をおさめているのです。例えば、第2テーマにおける第1マンドリンの旋律にに対して第2マンドリンその他の楽器に交互に現われる和音、変イ長調においてマンドラによって奏される第3テーマでの第1マンドリンのピッチカート伴奏はきわめて注目に値し、力強い作風の中に多くの精妙な技巧を用いています。また第2テーマに対する第2マンドリンのアルペジオ伴奏はこの曲の重要な要素を示し素晴らしい効果をかもし出しています。

このように巧緻をきわめた楽器の使い方によって色彩的な効果を十二分に発揮したことは、この曲をマネンテの代表作としたと同時に、今日に至ってもマンドリンオーケストラ曲として秀逸のものと認められるゆえんなのです。またテクニックの難しい事においても有名な曲で、各パート共、相当高度なテクニックを必要とします。

レストラン & コーヒーショップ

一茶苑

岩国駅前 TEL 21-3431

曲目解説

朱雀門

鈴木静一作曲

私は戦後仕事の関係で京都に行く事が多かった。京都には、古典の香り豊かな行事が多く、ことに祭典には、音楽的興味をそそられるものが多かった。しかし、職業としての制作に追われ、作曲に托すきっかけをつかめずに過ぎた。

一昨年、古い仲間である高橋三男が突然標題の絵巻の話を持ちこんだ。それが動機となり、やっと「京都」を素材とする製作に踏みきれた次第である。作曲は意識して劇的とし、京に残る土俗音楽や雅楽のニュアンスを取り入れた。

平安の京と呼ばれた時代、京都御所（皇居）は現在より西にあり、そこを起点とし南に都を一直線に貫く朱雀大路に結ばれ相対する壮麗な桜門、朱雀門、羅生門である。この物語は、その朱雀門にまつわる鬼の噂であるが、絵画だけにたよった私のフィクションとご承知されたい。

伝説や民話での鬼は怪物にされているが、鬼人あるいは、鬼神とも呼ばれていた。いずれにしても通常の人間にとって、決して親しまれる存在ではなかったようである。



宝石・フランス香水・各国輸入アクセサリ

ハラダ宝石店

駅前宝石部 岩国市駅前アーケード街 本店 岩国市元町三丁目10-20

電話岩国(0827)21-6421番 時計眼鏡部 電話岩国(0827)21-0812番

朱雀門

1 主 題

山は紫に水清く、平安の京は美しき都として栄えていた。花の都も西大路を境に太秦にかけては庶民の集落が続き、その街は物売りの呼声に日暮れ前の一時混雑する。その中を皇居に仕える若き公卿長谷雄は二人の供人を連れおゝらかに歩いていた。物売りはさまざま。白銀の鱗に朱点をちりばめた川の魚。目覚めるばかり鮮やかな緑は若く、そして露のとうの青さがふと長谷雄に季節を思はせた。見はたす目にさみどりの衣笠山が柔らかなになり妙心寺をぬけ北野から北大路、南に下がり一昔前に戦火に焼かれ、今は住む人もない皇居跡に近づくとつれづれ壮麗な楼門がそびえる。それは沈む日に朱色に燃える朱雀門であった。

2 怪しい男

夕映えの空に黒々とそびえる朱雀門を潜ろうとした時、長谷雄は見上げるばかりの大男に呼びとめられた。男は色赤黒く、厚い頬の肉付き、険しいまなざしは見るからに恐ろしげで不甲斐なく逃げ腰となる供人をあざ笑いながら問いかける。

鬼 「官仕いの公卿とみうけるが僕と双六の手合せをされぬか。」

長谷雄 「双六？」

長谷雄は双六にかけては宮中で指折の名手だった。無礼な路上での挑戦にむっとしたが、腕に覚えのある双六と聞いては後にひけなかった。

長谷雄 「手合せしなくてもないが御身は何人である。」

鬼 「僕は京のかたほとりに住む名もない者であるが、双六にかけては今日まで誰にも負けたことがない。長谷の卿は宮中

に於て並ぶ者なき名手と聞き及び、手合せを望みもうした。しかし、只の手合せでは物足りぬ、賭双六を所望する。」

長谷雄 「何者か知らぬが、挑まれては後に引けぬ。望にまかせて手合せするが賭事は好まぬ。」

鬼 「名もなき下人との賭事はならんと云はれるのか。」

だが僕は太宮人から賭物は求めぬ。もしも僕が卿に勝てばこちらから進上するまで。取る取らぬはそちらの気まかせ。」
傲慢な男の態度は長谷雄を怒らせ、供人が押える袖を振り切り、

長谷雄 「よし、望にまかせ。が、手合せはいつ、どこです。」

鬼 「どこでもよいが昔は宮所の大手を守ったこの朱雀門。」
大いなる楼門はいつの間にか夕闇にぬり込められ、朱の色もどす黒く不気味に見えた。

3 晩 鐘

心配する供人を先に帰し、長谷雄は怪しい男に導かれ楼の上に上った。日は西山に沈み、見渡す街々には点々木陰が見えた。あちこちの寺院の夕べの鐘がこんな場所で怪しい男と双六など頼り軽卒を戒めるかのように静かに響き渡っていた。

長谷雄 「おゝ暗い。」

鬼 「こう暗くては何も見えまい。人間は不自由なもの。」

長谷雄 「人間？」

長谷雄は目の下から南にのびる大路のはてに立つ羅生門の影に、いゝ知れぬ不安をおぼえ男を振り返った。打ち消すように男は手を打つ。

鬼 「落!! 灯を運べ。」

4 落

長谷雄は薄闇の中から灯をさゝげ静かに現われた女の美しさに目をみはった。非の打ちようのない美貌、容姿、ことに透き通るばかりの真白の肌よ。月に住む嫦娥とはこんな女性

国際文化服装学院

所在地	東 校 舎 岩国市今津町1の8 TEL 21-0782 西 校 舎 岩国市麻里布町6-9-5 〒740 TEL 21-1566	教 育 針	◎文化服装学院連鎖校 ◎近大豊岡女子大連携校 最高水準を行く文化の名門、洋裁を学びながら短大卒業ができる。
学 科 取得資格	洋裁科・和裁科・編物料・短大家政科・料理科 (各科とも昼・夜)	施 設 他	寄 宿 舎 完 備 す。国 鉄 学 割 あり。交 通 至 便。

曲目解説

かも知れぬ。長谷雄はこの世の人とも思はれぬ女の美しさに見惚れるばかり。渚と呼ばれた美女は烽火を差し置くと、そっと長谷雄を仰いだ。そして気品ある青年公卿の容姿にほのかな恥らいを浮かべ、面を伏せてその場を去った。

鬼 「はっはっはっ。如何じゃ。」

男は女の去った方を茫然と見る長谷雄に高笑いをあびせかけ、

鬼 「僕が賭けると申したのは即ち今見られた女であるが、あれ程の美女は宮中でもおらんのではあるまいか。それでも卿は賭双六を否まれるか。」

長谷雄は返す言葉もなく顔を返らせた。欲しい。なんとしても。心は燃えていた。

5 双六と鬼

鬼 「いざ、まいろう。」

男の声に未だ夢心地の中をさまざまに迷っていた長谷雄は、はっとして我に帰った。二人は双六盤を挟み、向い合った。男の打込みは意外と鋭かった。ひきかえ長谷雄は訝えなかった。気負い込んだあせり。反対に男には落ち着きがある。あまりにも美しすぎる女の面影は絶えず盤面と交わり、長谷雄の理性をかき乱す。打つ手も打つ手もしどろ。局面は不利に展開するばかり。これではならぬ。必死。美女の面影を振りはらいのしかかる男の攻勢を危うくかわし、長谷雄はようやく立ちなおった。その頃から長谷雄は遠雷の轟とも地震の地鳴りともとれる鳴動を聞くともなく感じていた。

長谷雄 「どうじゃ、この手をどう防ぐ。」

立ち上って盤面から目を上げた長谷雄はぎょっとした。手詰まりに苦悩する男の形相のすさまじさ。それは話に聞く鬼だった。はっとしてひるむと男はたちまち盛り返す。今は恐怖を忘れ切り返す。一進一退につれ、さっきからの鳴動は次

第に高まるが、それさえも忘れて長谷雄の打ち込みは相手を圧倒する。そして最期の時がきた。

長谷雄 「どうちゃ、これまでと思うが。」

鬼 「ひーん」

怪しい男のうめくにつれ鳴動はいよいよ高まり、巨大な朱雀門は今を限りとすさまじく、ひしめき、ゆれる、ゆれる。そして長谷雄は目前にはっきり鬼神の姿を認め、のけぞった。意外なことに怪しい男は約束通り渚と呼ばれた美女を長谷雄に与えた。人一人、しかも比類なき美女を惜しげなく。唯、百日の間特別の関係を持たないことを条件に。賀茂川のせらぎを間近に聞く長谷雄の歴敷は渚を迎へ、今までの男ばかりの殺風景に引き替え、はなやいだ気配に色どられた。疑えば何から何までが疑惑に満ちた渚。けれど鬼の女でもいい。これ程の美女。渚の美しさは全ての疑惑を忘れさせ、長谷雄をとりこにした。こうしてみやびた青年公卿と正体の明らかでない美女との不思議な生活が始まった。渚は何事にも長谷雄の意志に背かなかった。その従順がふと長谷雄に禁じられた欲望を起させることが重くなった。手に触れただけでほろと落ちるあだ花のようなもろさが長谷雄を苦しめる。もどかしい幾日幾夜が流れる。

6 夏の夜

賀茂の祭が過ぎると雲の色に、深まる木々の緑に、都は俄に賀茂川のせらぎの懐かしまれる夏の気配が漂う。その夜は夕べから風が落ち、日没と共に汗ばむ暑さが襲った。長谷雄は涼を求め、しとみを上げ、縁先に出て渚の捧げる瓶子の酒に杯を重さねた。どこからか庶民のすさぶ太鼓や笛の音が聞えてくる。こうした夜の渚は一際美しく長谷雄の胸を騒がせる。長谷雄に強いられた酒が渚の面をほのかな紅に染めかす。ときおり絡み合う二人のまなざし。この夜の渚には今ま

高級婦人服

BOUTIQUE

岩国市麻里布町6-3 TEL21-2975



で見せたことのない媚が浮んだ。

7 雷雨と渚の消滅

真暗な月のない夜空に、さっきから遠い稲妻がきらめいていたが、ふいに強い稲妻が比叡と如意ヶ岳の山影を暗黒の中に浮き彫りにする。おいかげ重々しい雷鳴が轟く。

渚 「あっ」

渚は長谷雄の膝にすがる。すがられて思はず取った手を一度はつきはなしたが、その顔は苦悶に歪んでいた。自制ぎりに喘ぐ長谷雄。とも知らず渚はその膝に面を伏せる。それが長谷雄に禁断を破らせた。

長谷雄 「渚!!」

うめいて長谷雄は渚を胸に抱いた。堰を切りほとばしる愛情。長谷雄はとうとう怪しい男との約束を破った。八十日目だった。あとたった二十日。すさまじい雷雨が地上を襲う。長谷雄はぎょっとして陶酔から目覚めた。渚の身体が異常に痩せ細っていくのに気がついた。

長谷雄 「あっ」

我目を疑う長谷雄の目前で軽やかな渚の五体が朝日の前の薄ら氷よりたよりなくつま先から溶けていく。

長谷雄 「渚!! 渚!!」

狂ったように叫ぶ長谷雄をみつめるその目に無限の悲しみをこめ、渚は手を差し伸べ、あー、その細い指先の流れ落ちる涙のように溶け、流れ出る。色も香もない美しい一筋の水となって。

8 渚

想像もしなかった終局のむごさに立ちすくむ長谷雄。その耳に聞き覚えの高笑いが空から落ちてきた。

長谷雄 「あの男だ。朱雀門で渚をくれ今又奪おうとしているあいつだ。」

鬼 「お前は約束を破った。渚は僕がたくさんの死人の中からその良い所だけを選びすぐって作り上げた仮の身の女なのだ。あと二十日待てばあれは現身の人間として永遠の命を与えられたのに、たった二十日の辛抱が出来ずにあたら水に流してしまっただの。自業自得よ!! うつけが!!」

その声はおらびながら遠ざかるらしい。

長谷雄 「待て!! 渚をもう一度この手に戻してくれ。百日、いや千日もいいはぬ。今一度私に返してくれ。」

長谷雄は庭におどり出て叫んだが、嘲けりの高笑いは夜空を西に飛んで遠ざかった。そして渚の姿は全く消えていた。美しかった面影。深い愛情の込められたあの静かな声。その渚は今はいない。

長谷雄 「渚!!」

長谷雄は地に伏して泣いた。雷雨はいつか止み、軒端に落ちる雨だれもたえだえ。むなしく消え去った渚への慕情と共に耐え難い寂りょうが一度に襲った。長谷雄は雨上りの暗い街にさまよいついた。どこをどう歩いたかも知らずに、暗黒の中に黒々とそびえる楼門を見た。朱雀門であった。

9 終 曲

ナレーションなし。



トヨタ自動車工業(株)指定サービス工場

岩国中央自動車工業株式会社

岩国市室ノ木町1丁目5-17
TEL 代表 ②1 8 1 5 1

PROFILE



中山正紀(ナレーター)

広島商科大学在学中、軽音楽部常任司会者としてその名を高め、広島の皆様にも広く親しまれる。そして彼の甘く、渋い声にハートを魅了された女姓は数知れずとか？

また、4年間演劇部で活躍し、とりわけ18番の落語は、得意中の得意である。

今春卒業、現在中山南天堂で多忙な日々を送っている。

朱雀門のナレーターは、2回目の出演でもあり、初回が好評だったので今回も大いにハリキッている。

今宵、彼の甘い声にハートを奪われるのは、アナタ、あなたです！

室井清司(司会)

昭和22年8月福岡に生まれる。明治大学政治経済学部卒業後、RCCに入社、現在に至る。ドライブ、釣、ゴルフなど多彩な趣味を持ち、又、RCCにおいてはアナウンス部の新鋭として大いに期待されている。目下の処レギュラー番組は持っていないが、近い将来持つ予定になっているので、その時はよろしく。

尚、余談だが、ガールフレンドのレギュラーもいないとのことなので、我と思われん方はレギュラーめざして頑張ってみてはいかがか……………！/?

ソング・オブ・ノルウェイ スーパーパナビジョン
超ステレオ音響
カラー作品 **70mm** **SONG OF NORWAY**

■ノルウェーのショパンといわれた愛の作曲家グリーグ、その感動の半生
恋を謳い愛を奏でる感動の傑作
■トウルフ・モースタット 麗クリスター・ナショリン 麗フローレンス・ヘンダーセン
■脚本・監督 アンドリュー・レスター 麗演奏 ロンドン・シンフォニー・オーケストラ
主唱曲 - ABC (サントラ) / エンジェル / RCA (オリジナル)

【オードリ・ヘップバーン】【ピーター・オートワール】
《パナビジョンカラー作品》おしゃれ泥棒

20世紀FOX映画提供
A B C 作品

おしゃれ泥棒 ①—②11:05 ③6:10
ソング・オブ・ノルウェイ —①10:50 ②3:35 ③8:20

8月25日公開! 9月3日迄 2本立 岩国国際

マンドリン音楽小史



紀元16・7世紀ヨーロッパに広く使用されていたリュート属楽器の一種にマンドーラ (Mandora 即ち Mandola ではない) なる楽器がある。マンドリンは此楽器から出たもので「小さいマンドーラ」の意味を持つ。イタリア語のマンドリーノ (Mandolino) なる名称は、そこから出たものであるといわれている。語源は巴旦杏 (はたんきょう) =すももを意味するイタリア語のアルマンド (Armando) にあるらしく、マンドリンの共鳴胴は、明らかに巴旦杏から形取ったものである。マンドリンは17世紀の初頭、ベニスに居た楽器製作家パロッキーが始めて作ったと言われている。マンドリンは主としてイタリアに発達し、土地によってミラノ型 (ロンバルディア型) フィレンツェ型、ローマ型、ナポリ型、シシリー型マンドリンと呼ばれる。そして、日を経るにつれ遂にはナポリ型マンドリンが他のマンドリンを風靡してしまった。マンドリンは早くからドイツ・オーストリアにも伝わり、モーツアルト (Mozart) はその歌劇「ドン・ジョバンニ」 (Don Giovanni) のセレナードにマンドリンを用い、ベートーベン (Beethoven) はマンドリンとチェンバロ (ピアノの前身) のために四つの作品を書いている。当時のマンドリンは凡ゆる点で不備

で、複絃4対のガット絃を張り、セルロイドが未だ発明されなかったのでピックとしては、イタリア産桜の樹皮や鳥の羽骨やべっ甲等で使用されていた。勿論トレモロ奏法等は未だなく、わずかに弾音によってその特性を示していた。当時のマンドリニストとしてはイタリアにフィオルロ父子、ジョヴァンニ・ゲルバジオ、ジョヴァンニ・チフォレッティアレクサンドロ・フリゼリ、シロラモ・ノンニーニ、ピエトロ・ビルメカティ、主としてドイツに住んでいたボルトラッチィ父子等が知られているが、此等の演奏家はマンドリン音楽の制作にも努め、作曲家としての名声も併せ持っている。従来の史的記述は上の様な知識を吾々に与える。しかし、イタリアに於てマンドリンは乞食や門附も手にする楽器であったこと、ドイツ・オーストリアに於ては漂泊詩人も手にする楽器であったことは忘れられない。この様にマンドリンは一面民衆の楽器でもあったのである。

ドライクリーニング・京洗い・いつも清潔な装いは……………

山本ランドリーで

今津八幡宮下 TEL21-2778

MEMBER

指揮者

高島 信人

蛭子 忠行

コンサート・マスター

山添 修志

司会

室井 清司(RCC)



Primo Mandolino

山添 修志
新井 義悠
藤本 匡孝
高木 進
瀬村 則夫
繁沢 秀治
山本 むつ子
河田 亮子
磯部 由美子

2nd Mandolino

守田 史郎
富沢 元生
江木 史子
松崎 みどり
岩井 由美
浦井 英子
角 真喜子
吉村 俊子
米村 直子
高木 清子

米重 睦子

木田 孝満(Jr)

村永 陽子(Jr)

中里 文昭(Jr)

Mandola Tenore

和久本 忠史

山根 義広

柴田 利和

田村 隆司

永易 澄子

酒井 喜久子

原 和正

吉山 文代

名越 喜彦

松村 紀(Jr)

Mandolon Cello

山本 芳生

奥田 憲三

石川 善久

福田 雅良(Jr)

原田 豊己(Jr)



会 長 三 浦 孔 司
 幹 事 長 沖 永 匡
 幹 事 山 添 修 志 (内 涉)
 高 島 信 人
 和 久 本 忠 史
 田 中 正 充
 石 川 善 久
 会 計 兼 本 静 江
 八 百 谷 和 枝

Mando Lone

広 中 良 実

Chitarra

富 永 勝 之

沖 永 匡

蛭 子 忠 行

中 原 悦 子

森 脇 清 子

三 上 悦 子

富 永 隆 行

兼 本 静 江

八 百 谷 和 枝

磯 部 悦 子

奥 西 仁

益 田 真 理 子

谷 本 浩 二

中 村 浩 子

河 村 美 津 江

時 田 宣 枝

井 上 安 広

木 村 透 (Jr)

Contra Basso

加 藤 範 久

浅 尾 佳 生

藤 島 寛 治

Flauto

竹 崎 トモ子

桑 原 陽 子 (賛)

Clarinetto

松 本 ひろみ (賛)

厚 東 繁 子 (賛)

Accordion

三 浦 孔 司

Timpani

吉 本 屋 政 幸 (賛)

Piano

山 崎 たみこ (賛)

岩国プレクトラム・ソサエティ紹介

このサークルは前身を岩高プレクトラム・ソサエティと称し、岩国高校プレクトラム・アンサンブルの卒業生で編成していましたが、一昨年岩国プレクトラム・ソサエティと改名し、市民の皆様にも演奏に加わって頂き、共にマンドリン音楽を楽しみ、アンサンブルを通して人間性を豊かにすることを目的としています。

年間の活動は、週一度の練習、その成果を発表する定期演奏会、休日を利用して養老院、養護園、母子寮等への慰問その他演奏会の賛助出演、また時には会員の懇親の場としてハイキング等を行なっています。

この演奏会は収益を母校のクラブへ寄附しようという目的のため有料で聞いて頂くことに致しました。

岩国市民のこのサークルに皆様の暖かいご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

尚、サークルに入会ご希望の方は気軽に現会員にご相談下さい。

幹 事 沖 永 匡

あなたの車に
エッソのサービスを……

至柳井

南岩国SS ③17078
Esso

錦帯橋

西岩国SS TEL④10132
Esso

至徳山

岩国SS TEL②10628
Esso

188

2

岩国駅

至広島

エッソ・スタンダード石油株式会社代理店 岩国石油有限会社

Detailed description: A stylized map showing the route of National Route 188 through Iwakuni. The route starts at '至柳井' (To Yuiji) on the left and ends at '至広島' (To Hiroshima) on the right. Along the route, three Esso service stations are marked: '南岩国SS ③17078' (South Iwakuni SS), '西岩国SS TEL④10132' (West Iwakuni SS), and '岩国SS TEL②10628' (Iwakuni SS). Landmarks include '錦帯橋' (Kintai Bridge) and '岩国駅' (Iwakuni Station). Road markers for '188' and '2' are also shown.

音楽とコーヒー

純喫茶
サンドイッチ・パーラー

コナ

駅前 TEL ②1 0552

白い砂浜の波うちぎわに、白い小さな貝がらが
おちていました。うちよせる白い波が、二人の
足をぬらして、その白い小さな貝がらをひっぱ
って行きました。二人はじっと海の向うを見つ
めていました。二人の恋がいつまでもつづくよ
うに……………
そんな夏の、ステキな思い出ばなしが、
カフェテリア亜土にはたくさんあるのです。

亜土

岩国駅前公園通りふんすい前
もしもし 21-4357



